

アユの採食活動による河川一次生産力の変動

内水面利用部

研究の背景・目的

1. アユの食料となる藻類の一次生産力から、河川において養うことができるアユ資源量を推定し、持続的かつ効率的なアユ資源利用法の施策が必要
2. そのため、**河川一次生産力の動態**の把握が必要

研究成果

1. アユの採食により藻類種構成が変化し、アユに対する一次生産力が向上
2. 河川一次生産力の測定に際し、アユの採食の影響を考慮することが重要

波及効果

1. アユ資源の漁場環境容量を推定し、その場に合った増殖手法の選択基準を提供
2. 漁場環境変化のアセスメントに適用可能

